

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%
保護者様： 28名回答、回答率 87.5 %

職員の意見

○環境・体制整備

- ・教室内に設計上大きな柱があるが、クッション材を利用して保護することで、怪我等の防止に努めている。
- ・トイレ内に手すりが設置してあり、安全面に配慮している。
- ・個別支援や専門的支援、クールダウン等に利用できるようパーテーションを利用している。

○業務改善

- ・各自が受講した研修内容をミーティングで共有したり、日々の出来事について等の情報共有を行ったりした上で、教室としての業務改善に努めている。

○適切な支援の提供

- ・全員が出勤してからミーティングを行うことで、漏れなく情報共有ができる様に努めている。
- ・日々の支援の振り返りを児童送迎後、できない時は翌日のミーティングで行っている。
- ・集団療育について、職員間で担当を割り振ることで、様々なニーズに合わせた支援を行っている。

○関係機関や保護者との連携

- ・児童が通う学校の先生方と送迎時に情報共有を行ったり、関係機関連携を行っている。
- ・送迎時に保護者の方と細かな連携を取り、支援に繋げている。
- ・課外活動では近隣の公園や店舗に出かけることはあるが、交流までには至っていない。

○保護者への説明責任等

- ・今年度は夏休み前に保護者会も開催し、自然災害発生時などの対応方法について情報共有をおこなった。
- ・また、新規契約時には時間を掛けて重要事項説明書などの契約書類の説明をおこない安心してご利用いただける様に努めた。

○非常時等の対応

- ・毎月一回、内容(地震・火事・水害・不審者対策)を変えながら教室内で避難訓練を行っている。
- また、今年度は夏休みに本所防災館に行き、教室では取り組めない実践的な訓練に取り組んだ。
- 指導員含めて非常に良い経験となったので、定期的に体験・訓練が出来る様に長期休みなどを利用して取り組んでいきたい。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

・生活空間についての質問に対して、8割の方から「はい」の回答をいただき、「きれいに掃除されている」

「スペース的には広い」といった意見をいただいた。

・「職員の配置数が適切だと思いますか」の質問に対しては、約半数の方から「わからない」、「どちらともいえない」との回答をいただき、「何人が把握していない」との意見をいただいた。

○適切な支援の提供

・個別支援計画作成や活動プログラムの工夫については、多くの保護者様に評価頂き、「こどもの特性に沿って考えプログラムや関わり方をしてくれている」「こどもの特性も、親からの悩みなども聞いて、作成してくれている」という意見をいただいた一方で、「特性のカバーが個々に対応されるのはかなり難しいと思うので、見学等もできると嬉しいです」といった意見も聞かれた。

・地域との交流についての質問に対しては、実施ができていないこともあり、8割の方から「どちらともいえない」「わからない」「いいえ」との回答をいただいた。

○保護者への説明等

・保護者への説明や情報伝達の質問に対して、9割以上の方から「はい」との回答をいただき、満足度が高いことを伺えたが、「週1の利用のため、土曜開室の連絡が遅れて利用できない。プリントではなく、アプリやメールで、できれば前月の10日までに次月の土・祝日開室予定日のお知らせ、20日頃までに参加可否の連絡があれば予定が立てやすく参加しやすくなる」「LINE等でやりとり出来ると助かります。」という意見をいただいた。

・保護者会や療育参観については約7割の方から「いいえ」「どちらともいえない」との回答が見られた。

○非常時等の対応

・避難訓練、防災訓練の実施については、ほとんどの保護者様から評価いただいた。

○満足度

・満足度の質問に対しては、90%を超える「はい」との回答をいただき、「とても楽しみにしています」という意見もいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

・定期的に教室内研修を行い、職員の支援力の向上を図ることで、安定した支援を提供できる教室環境作りを行う。

・定期的に保護者会及び療育参観を行うことで、教室での様子や療育内容を確認できる場を増やせるように取り組んでいく。

○改善できた点・まだ残る課題

・昨年度末に1回、今年度も夏休み前に1回保護者会と療育参観をおこなった。引き続き定期的を開催する事で教室の見える化を進め、保護者様にも安心してご利用いただける様にしていく。また、日頃の様子もお伝え出来る様にブログの更新や写真・動画などを撮影して送迎時や更新面談時に視覚でもお伝えする。

・会社としての研修は取り組んできたが、教室内での研修や事例検討などはなかなか取り組む事は難しかったため、時間を確保して取り組んでいけると良い。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・適切な支援の提供や満足度は高い評価をいただいている。引き続き満足度を得ていただける様な支援を今後も継続していく。
- ・集団療育は職員間で担当を割り振ったり、法人内他事業所との合同企画を行う等、様々なニーズに合わせた支援をおこなっている。

○改善点

- ・職員一人ひとりの支援力向上と、教室としての安定した支援を提供できる環境作り。
- ・利用頻度の少ない(週1利用)方々への土曜日利用案内の遅れ。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・保護者様のニーズを把握し、それらを実現できる様に教室内研修を強化し、療育におけるスキルアップを目指す。
- ・利用頻度の少ない(週1利用)方々へ余裕を持った土曜開室案内をおこなう。

○1年間で取り組む具体策

- ・定期的に教室内研修や事例検討を行い、職員の支援力の向上を図ることで、安定した支援を提供できる教室環境作りを行う。
- ・定期的に保護者会及び療育参観を行うことで、教室での様子や療育内容を確認できる場を増やせるように取り組んでいくと共にブログの更新や写真や動画での様子も合わせて伝えていく。
- ・お便りの配布だけではなく、メールや電話なども活用し前もって活動の案内や利用希望のお伺いが出来るように対応をおこなう。